

## 令和3年地域コミュニティ実態調査の概要

## 1 調査の目的

地域コミュニティ振興指針の改訂にあたり、地域コミュニティの実態を把握するとともに指針の見直し、今後のコミュニティ施策の検討とするために実施

## 2 調査の基準日

令和3年9月1日

## 3 調査期間

9月21日～10月8日

## 4 調査の対象

市内すべての町内会長、大字区長、地域づくり協議会長  
対象組織数 216 (新井地区 126 妙高高原地区 21 妙高地区 69)

## 5 回収結果

- ①発送数 216件
- ②回収数 160件 (新井地区 96 妙高高原地区 18 妙高地区 42 不明 4)
- ③回収率 74.1% (新井地区 76.2% 妙高高原地区 85.7% 妙高地区 60.9%)

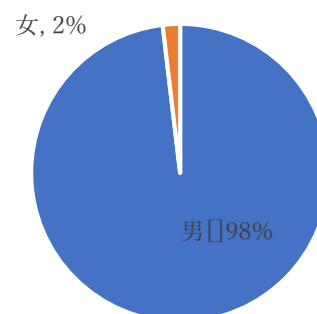
## 6 調査事項

- (1) 会長の現状 (性別、年代、在職年数、職業、会長種類、手当額)
- (2) 地域コミュニティの組織運営について
- (3) 地域コミュニティの活動状況と今後の見込みについて
- (4) 地域コミュニティの課題について
- (5) 活動の負担にまつわる取組や高齢化への対応について
- (6) 担い手の確保に関すること
- (7) 新型コロナウイルスの影響、課題について
- (8) 活動への住民参加の工夫
- (9) 行政との関係
- (10) 力をいれている取組や自慢できる取組について (自由記述)
- (11) 町内会・大字等の運営について (自由記述)

(1) 会長の現状（性別、年代、在職年数、職業、手当額、選出方法、役員任期）

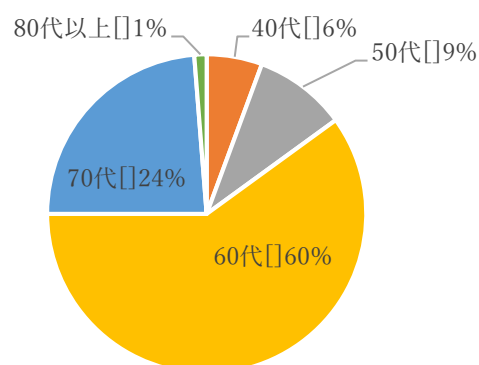
①性別

| 項目 | 回答数 | 割合   |
|----|-----|------|
| 男  | 157 | 98%  |
| 女  | 3   | 2%   |
| 合計 | 160 | 100% |



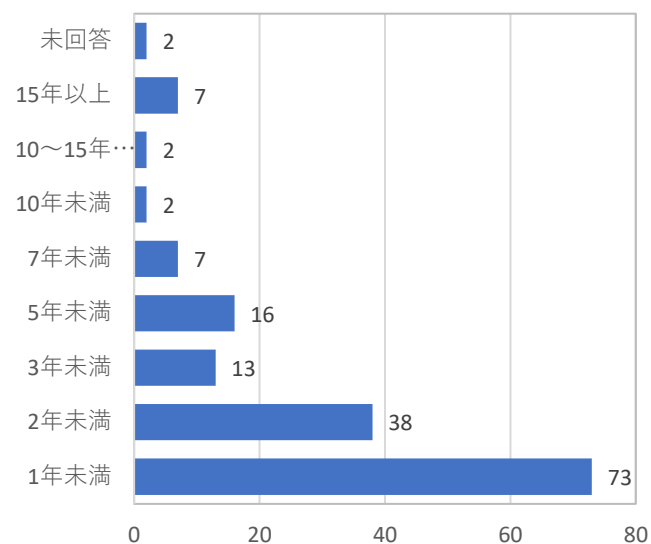
②年代

| 項目    | 回答数 | 割合  |
|-------|-----|-----|
| 30代以下 | 0   | 0%  |
| 40代   | 9   | 6%  |
| 50代   | 15  | 9%  |
| 60代   | 96  | 60% |
| 70代   | 38  | 24% |
| 80代以上 | 2   | 1%  |
| 合計    | 160 |     |



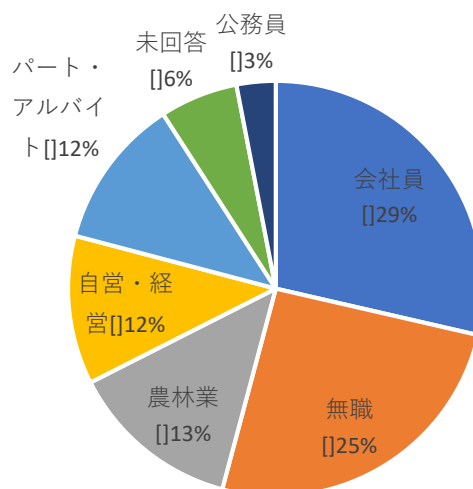
③在職年数

| 項目       | 回答数 | 割合  |
|----------|-----|-----|
| 1年未満     | 73  | 46% |
| 2年未満     | 38  | 24% |
| 3年未満     | 13  | 8%  |
| 5年未満     | 16  | 10% |
| 7年未満     | 7   | 4%  |
| 10年未満    | 2   | 1%  |
| 10～15年未満 | 2   | 1%  |
| 15年以上    | 7   | 4%  |
| 未回答      | 2   | 1%  |
| 合計       | 160 |     |



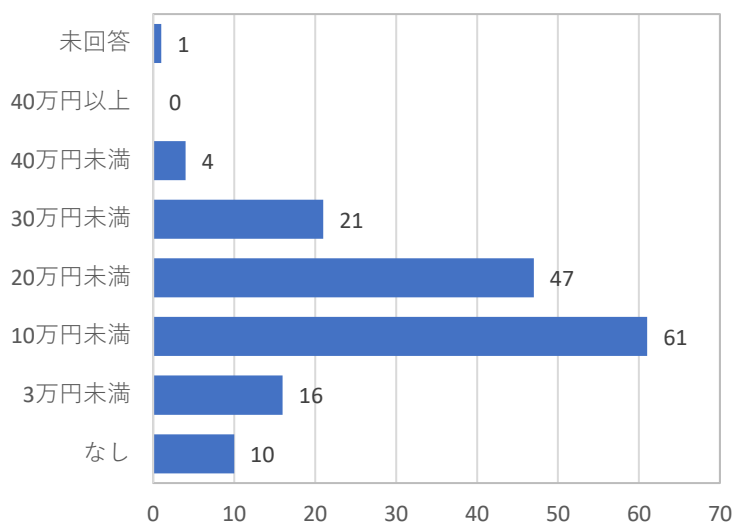
#### ④会長の職業

| 項目        | 回答数 | 割合  |
|-----------|-----|-----|
| 会社員       | 47  | 29% |
| 無職        | 42  | 26% |
| 農林業       | 22  | 14% |
| 自営・経営     | 19  | 12% |
| パート・アルバイト | 15  | 12% |
| 公務員       | 5   | 3%  |
| 未回答       | 10  | 6%  |
| 合計        | 160 |     |



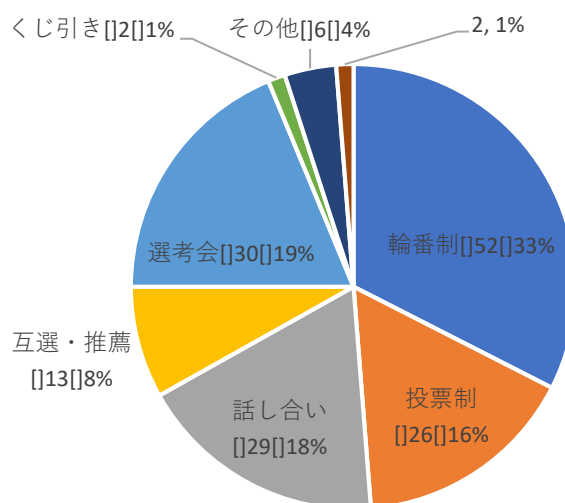
#### ⑤手当額

| 項目     | 回答数 |
|--------|-----|
| なし     | 10  |
| 3万円未満  | 16  |
| 10万円未満 | 61  |
| 20万円未満 | 47  |
| 30万円未満 | 21  |
| 40万円未満 | 4   |
| 40万円以上 | 0   |
| 未回答    | 1   |
| 合計     | 160 |



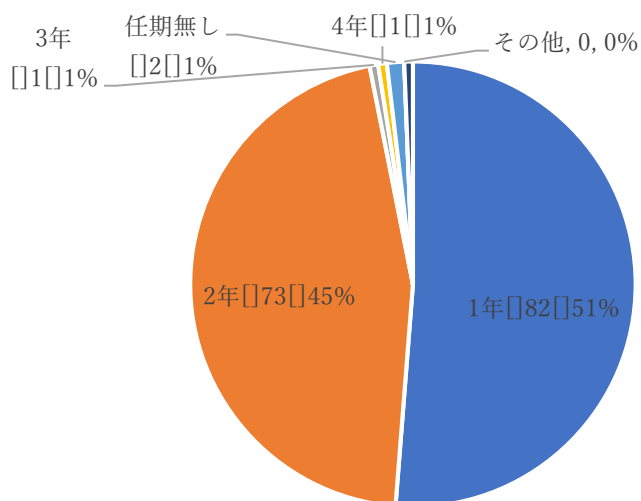
#### ⑥役員選出方法（会長職）

| 項目    | 回答数 |
|-------|-----|
| 輪番制   | 52  |
| 投票制   | 26  |
| 話し合い  | 29  |
| 互選・推薦 | 13  |
| 選考会   | 30  |
| くじ引き  | 2   |
| その他   | 6   |
| 未回答   | 2   |
| 合計    | 160 |



⑦役員任期（会長職）

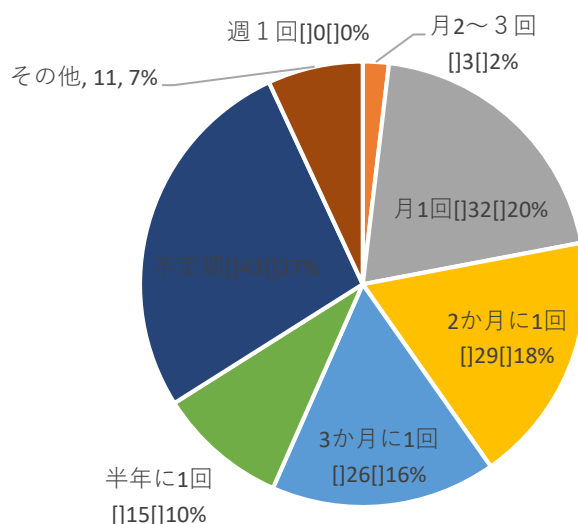
| 項目   | 回答数 |
|------|-----|
| 1年   | 82  |
| 2年   | 73  |
| 3年   | 1   |
| 4年   | 1   |
| 任期無し | 2   |
| その他  | 0   |
| 未回答  | 1   |
| 合計   | 160 |



(2) 地域コミュニティの組織運営について

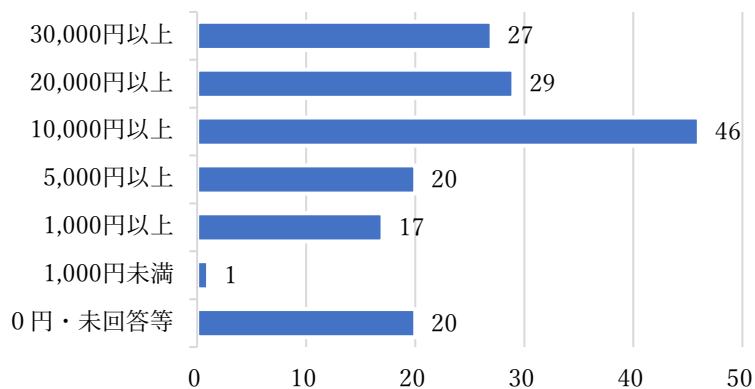
①大字・町内会など独自の会合の頻度について

| 項目     | 回答数 |
|--------|-----|
| 週1回    | 0   |
| 月2～3回  | 3   |
| 月1回    | 32  |
| 2か月に1回 | 29  |
| 3か月に1回 | 26  |
| 半年に1回  | 15  |
| 不定期    | 43  |
| その他    | 12  |
| 合計     | 160 |



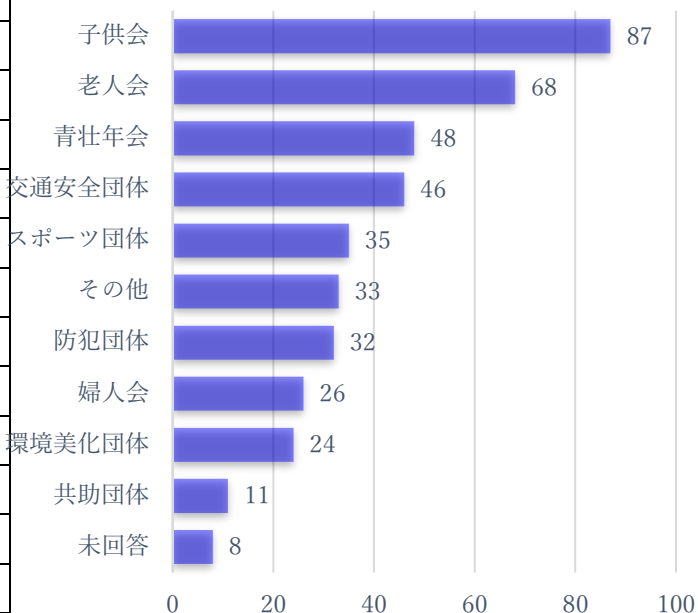
②年間の町内会費・大字（1世帯の金額）を教えてください

| 項目        | 回答数 |
|-----------|-----|
| 0円・未回答等   | 20  |
| 1,000円未満  | 1   |
| 1,000円以上  | 17  |
| 5,000円以上  | 20  |
| 10,000円以上 | 46  |
| 20,000円以上 | 29  |
| 30,000円以上 | 27  |
| 合計        | 140 |



③地域に次のような組織はありますか？（複数回答可）

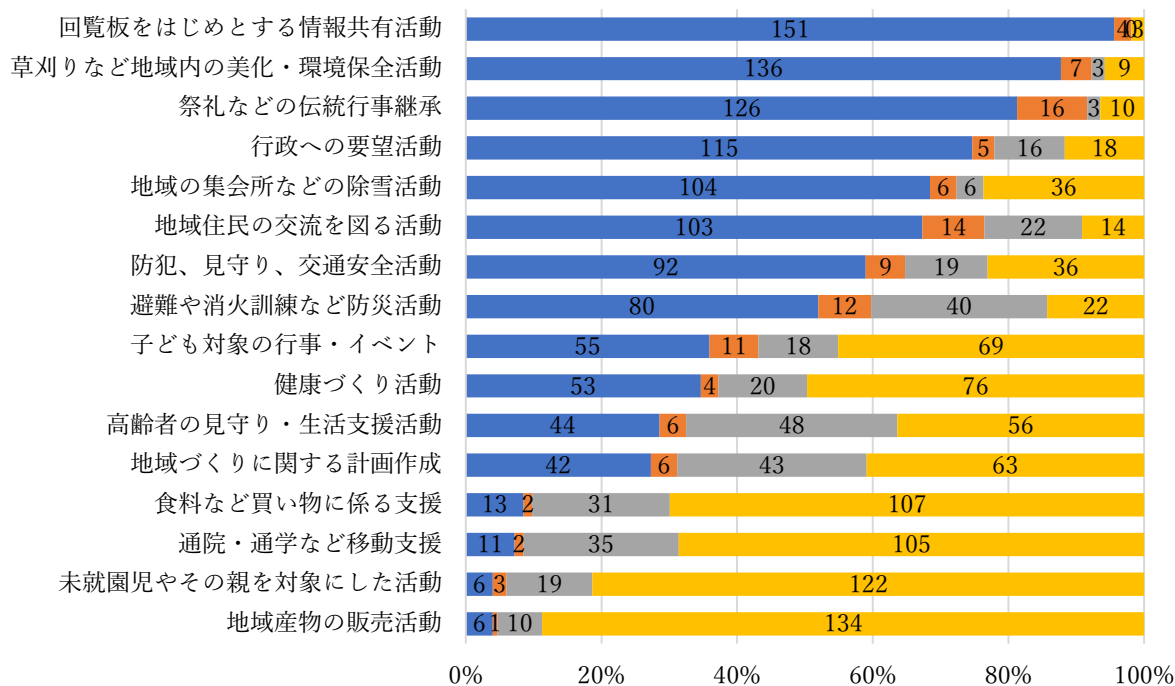
| 項目     | 回答数 | 割合  |
|--------|-----|-----|
| 子供会    | 87  | 55% |
| 老人会    | 68  | 43% |
| 青壮年会   | 48  | 30% |
| 交通安全団体 | 46  | 29% |
| スポーツ団体 | 35  | 22% |
| その他    | 33  | 21% |
| 防犯団体   | 32  | 20% |
| 婦人会    | 26  | 16% |
| 環境美化団体 | 24  | 15% |
| 共助団体   | 11  | 6%  |
| 未回答    | 8   | 5%  |
| 確認用    | 418 |     |



(3) 町内会・大字等組織の活動状況と今後の見込みについて（複数回答可）

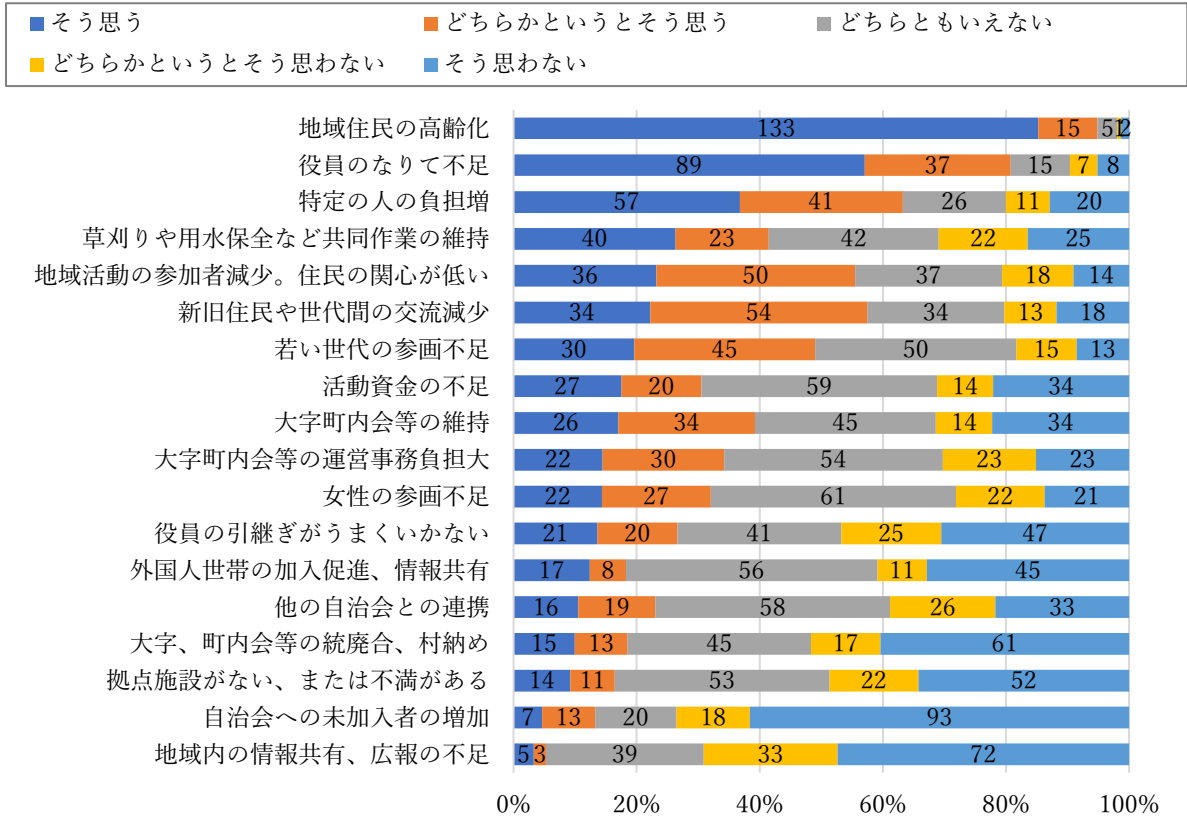
＜活動状況について、現状と今後の見込みについてどのように考えますか？＞

|                    |                        |
|--------------------|------------------------|
| ■実施しており、現状を維持したい   | ■実施しているが、縮小・廃止していきたい   |
| ■実施していないが、今後取り組みたい | ■実施していないし、今後も取り組む予定がない |



(4) 地域コミュニティの課題について（複数回答可）

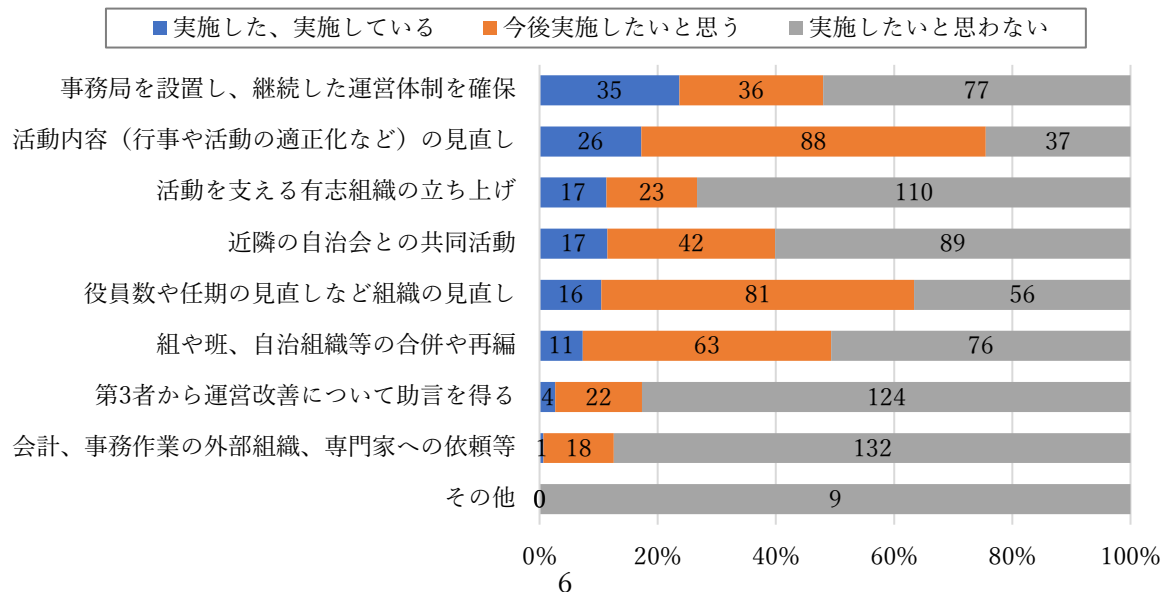
<町内会・大字の組織運営で課題となっていることは何ですか？>



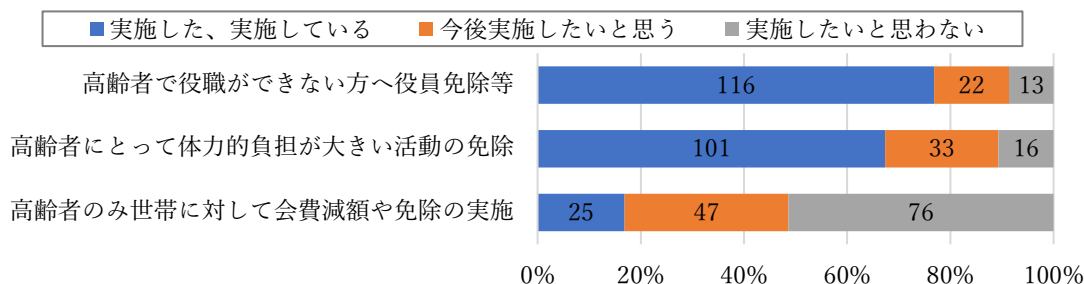
(5) 活動の負担にまつわる取組や高齢化への対応について

<町内会・大字等で①活動の見直しや②高齢化に対応するために次の活動を行っていますか？また今後実施したいと考えていますか？>

①活動の見直し



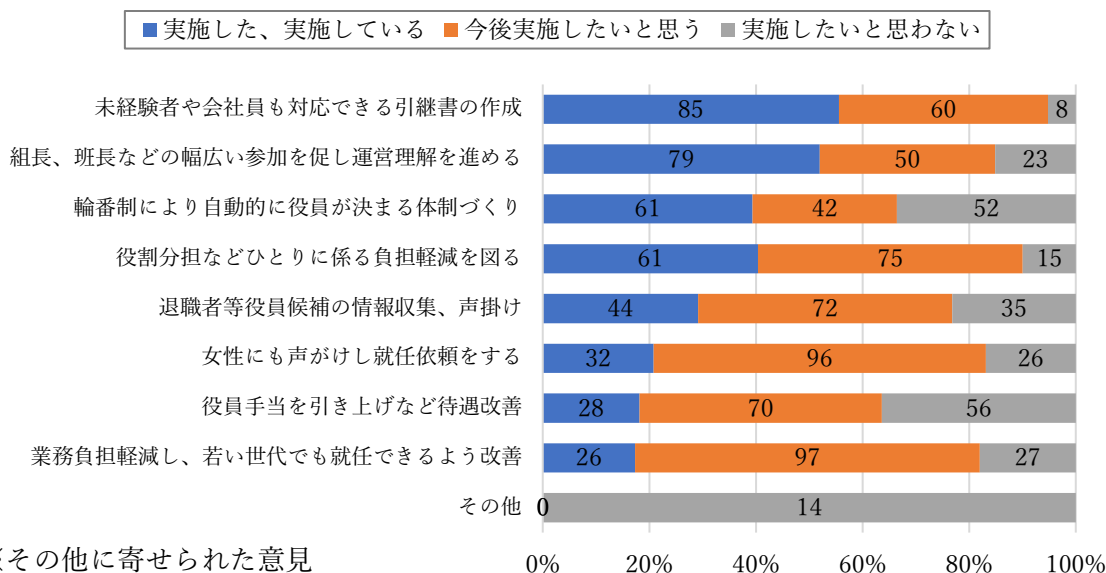
## ②高齢化への対応



## (6) 担い手の確保に関すること

＜役員の担い手の確保のための次の活動を行っていますか？また今後実施したいと考えていますか？＞

### ①住民参加の工夫

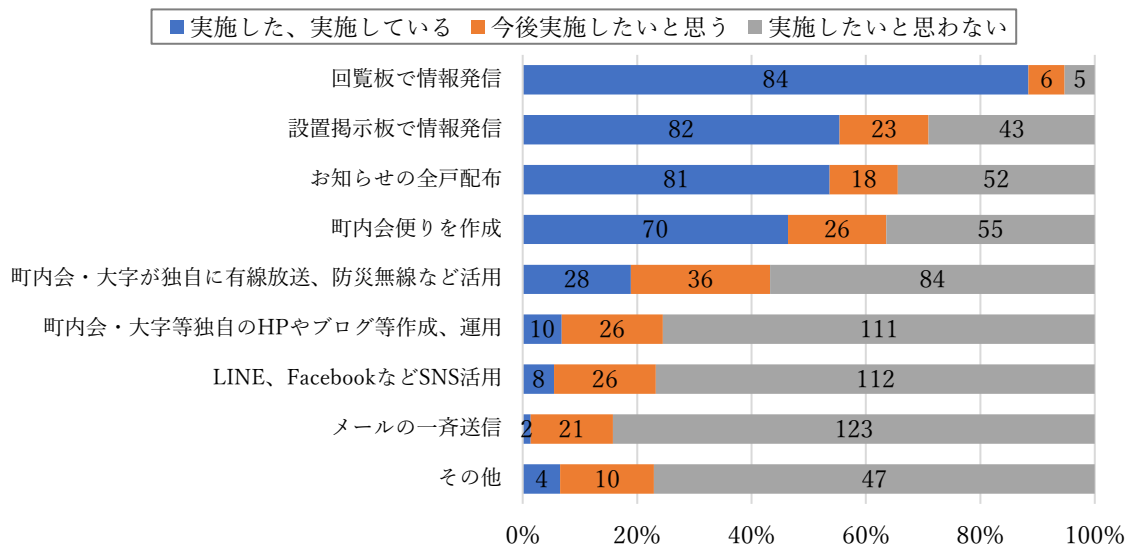


※その他に寄せられた意見

- ・選考会を開き話し合いにてお願いしている
- ・担い手の育成+世代間の交流ができるよう考えたい
- ・当面は役員の確保が可能であるが50歳未満の人が少ないので不安である
- ・町内会3役選出に関し「会則」に基づいて選出している
- ・小さな集落では、年代の差があるため役員確保が大変である
- ・区長の仕事が多い時、分担するにも引き受ける人が少なく確保が大変である
- ・協議会費が減少するなかで、事業を維持するには役員手当の引き下げが必要と判断し本年度見直しを実施した
- ・設問の「実施したいと思わない」は町内住人の人数・年齢構成等で実施しようにもできないのが現状（将来にわたっても）

- ・字費の額も高いため大字区民の不満もあるが、運営するのにも費用がかかり、一杯一杯で維持しているが、役員手当の額も引き上げできず、役員高齢化でなり手不足で負担が増している現状で、役員のおしつけ、悪循環にある
- ・投票は民主的なようであり、担い手の負担や都合を考えてくれないし、若い人も結婚すると出ていってしまい、将来の人材はどうなる事か全く見通せない
- ・輪番制を取ってきたが、今後どうしても若い人に頼るようになる
- ・役員は輪番制でスムーズにあがってくるが、会長職となると仕事量が多いため、なかなか決まらない
- ・役員は投票制なので担い手確保に困ることはないが、性別を問わないといっても選別されるのは男性ばかりで、女性役員の必要性、住民の意識等、今後検討すべきだと思う
- ・退職後も現役並みに働く人が多く、難しい
- ・町内の組を、3ブロックに分け、各ブロックから2~3名の役員を輪番で選出しているが、本来、役員として活躍できる（年齢的に）方が選出されない弊害がある
- ・女性、若者を積極的に参加させるように声掛けをする
- ・行事の企画・運営を行う専門部に若い人や女性を起用しているが、役員を誰も積極的にやろうと思っておらず、無言の常会（役員選出）、声を出した方が役員になる
- ・総会等で文句を言う人に限って、役員をすりと逃げる傾向にあり、悪循環、危機的状況にある

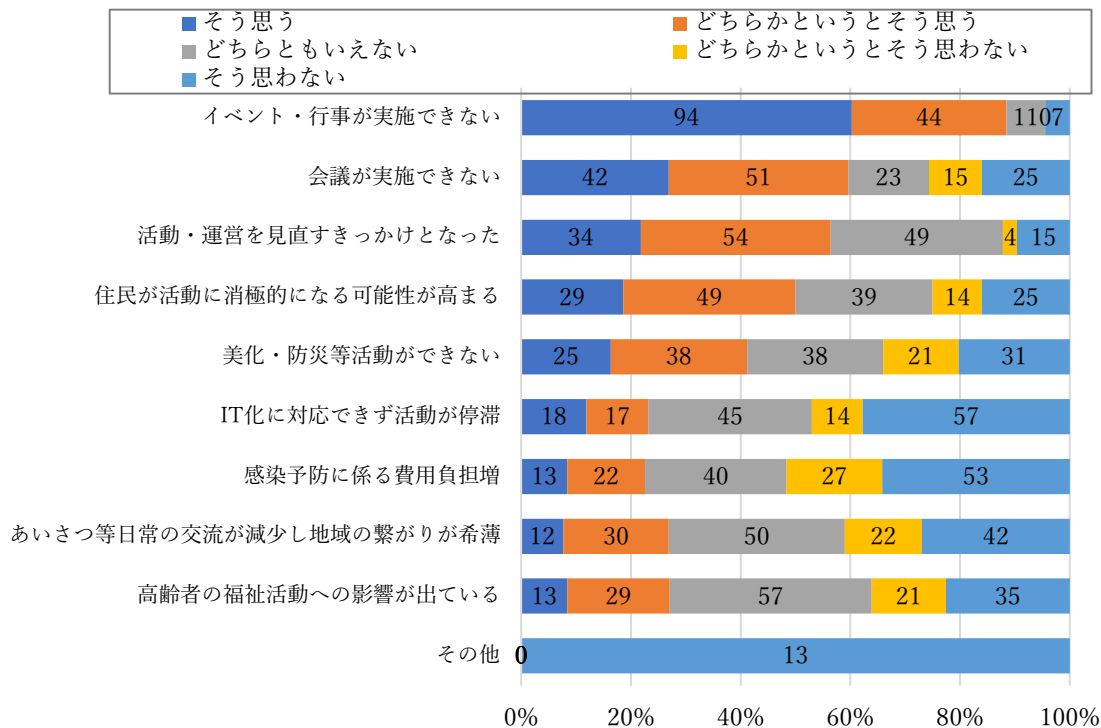
## ②情報発信の工夫





(7) 新型コロナウイルスの影響、課題について

<町内会・大字等における新型コロナウイルスの影響・課題を教えてください>



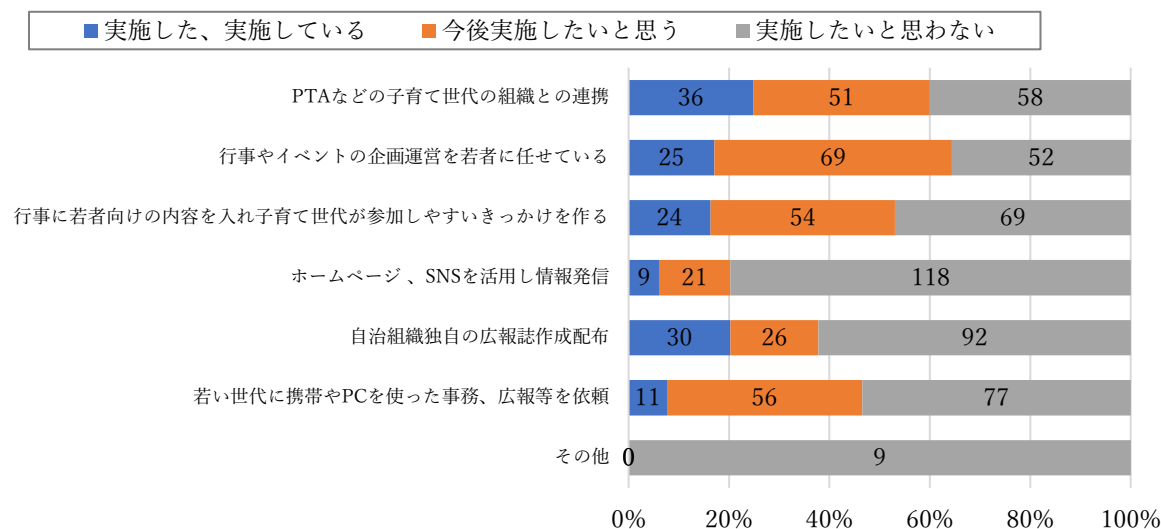
※その他に寄せられた意見

- ・ イベント、行事が実施できないているが違った方法で実施できないか検討中
- ・ コロナを理由に活動を停止してしまい、現状の中で何ができるか考えることが重要となっているため、支援についても考えてほしい
- ・ 感染予防に係る費用に関して、市の補助金を R3、4 年と継続して実施していただきたい
- ・ ワクチン接種の早期実施はありがたかったが、副反応がこわく受けられない人もいたので正しく理解してもらえるよう PR してほしい（周囲に未実施者がいると不安）
- ・ 防災等の活動はコロナ対策をして実施している
- ・ 役員会は実施していますが、組の常会など実施できないところがあります
- ・ 会議室が広い間隔をとるなど、感染対策をして普通に会議を行っている
- ・ マスク着用、30 分以内で終了の会議としている
- ・ 定年退職が 70 歳と言われる中で、退職前に大字区長を経験することになり、区長代行を指名する事ができるようにしたが、世の中それで通用するのか疑問で、通用するようにしてほしい
- ・ 避難所の運営上、人の分け方、消毒方法を考えると頭が痛くなる
- ・ 会議開催について、感染対策の上実施したが懇親会はしなかった
- ・ 若い世代が少ないため年齢差がある

- ・高齢者福祉関連は、飲食の伴う集まりを中止し、物品等で対象者に配布（敬老会等）
- ・会議について、役員間は基本 LINE とし、担当部署の資料や作成文書を LINE で流すか、役員宅ボックスに届け、その後 LINE で意見交換を実施
- ・縮小出来る行事は、新型コロナ対策を講じて実施（春祭り、敬老会、賽の神）し、飲食を伴う交流会行事は中止（納涼会）とし、中止行事に対しては代替行事实施（七夕飾りと全戸対象抽選会）
- ・町内会運営規約、公民館使用規約、防災会規約を組織図の見直しにより一部改正ができたが、防災に関しては、根本的見直しが必要で、組織図、緊急連絡網等、新たなものを作成し、活動は減少したが地域住民の意志確認が出来たが、全体会議が出来ず苦慮している
- ・行政からの会議等がなくて文書配布で済むなら、会社休まなくていいからこのままでいいし、TEL対応でも十分です
- ・会議等では、手消毒・検温・広い部屋で換気を行っている
- ・会社よって、会議等への出席について制限しているため欠席する人が多い
- ・防災、防犯、環境美化活動は野外での活動については感染防止策を講じて実施している

#### (8) 活動への住民参加の工夫

＜町内会・大字等では活動の関心を高めたり、幅広い世代の参加を促したりする取り組みを行っていますか？また今後実施したいと考えていますか？＞



※その他に寄せられた意見

- ・子どもが少人数で、子供会組織もないのが現状です
- ・「対象となる人」の絶対数がいないため、実施したいと思ってもできないのが現状
- ・PTA は解散した
- ・住民の一体感、地域の歴史保存のために、活動を写真や映像で残していくことが大切
- ・協議会たよりを年3回各全戸に配布
- ・NPO のホームページに地域情報を載せていただいている

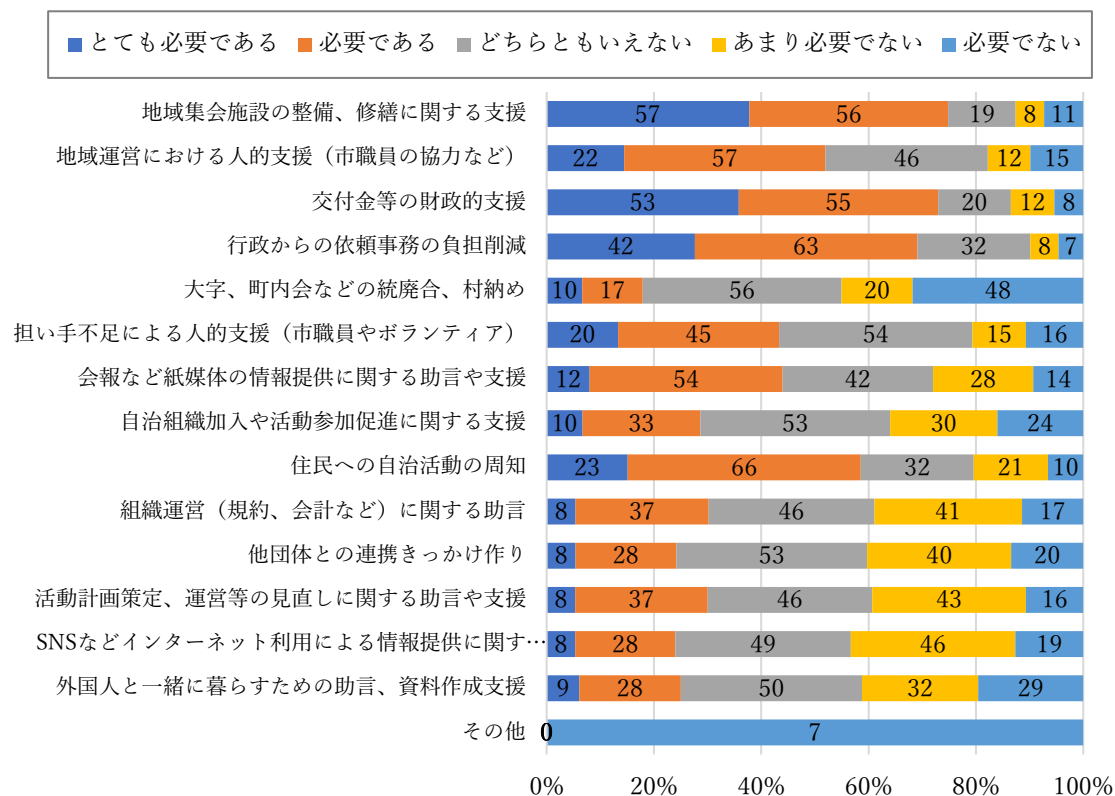
- ・七夕祭に多くの住民から参加してもらいたいため、全戸に短冊配布、願い事を書いてもらい回収、子供のいる家庭（保育園、小学生）には、折り紙の配布し七夕飾りを作成、回収、竹2本に飾り付け公民館前に展示するとともに、全戸に抽選券配布、当選番号発表、公民館にて景品配布している
- ・行事やイベントの当日に、地域内に広報車を巡回して参加を促している

## (9) 行政との関係

### ①地域活動に対する行政からの支援策があるのをご存知ですか？

|        |     |
|--------|-----|
| 知っている  | 108 |
| 知らなかった | 25  |
| 未回答    | 19  |

### ②あなたの町内会・大字等で今後必要性が高まると思われる行政からの支援について教えてください。



#### ※その他に寄せられた意見

- ・昨年は町内で実施している健康ウォーキングに都度市職員が参加したが今年は最初の1回だけですが、市職員が果たして継続して参加できるか疑問です。（市職員の負担も大きいと思います）

- ・高齢者で一人暮らしの人への支援
- ・冬季の除雪に向けて集会施設へのアンカー設置、安全带購入に対する補助金
- ・除雪体制に係る支援
- ・現状でも役員として市職員からの協力があり助かっているし、今後も必要と思う
- ・近隣の外国人、新しく転入してきた方のごみ出しトラブルがあるため、転入時にごみ出しカレンダーを渡してくれれば助かる
- ・地区担当を決めて色々相談を受けてもらう
- ・町内会・大字などの統廃合、村納は当事者では踏み込めない部分もあるので、行政の支援があるとありがたい
- ・村道の草刈支援の回数を増やしてほしい

#### (10) 力をいれている取組や自慢できる取組について（自由記述）

- ・地域づくり、体力づくり協議会委員の協力で斐太地区ならではのイベントを計画。斐太地区1周ファミリー駅伝、山城の陣など
- ・市から避難指示が発令された時避難伝達システムにより避難の呼びかけを行う体制ができている（3年に1度ほど訓練を実施している）
- ・東雲町は「新柿線」等があり、他市内及び他町内の人々が多く通行しているので、道路はポイ捨て雑草等が少ない町内花いっぱい町内としてきれいなまちづくりを目指しています。また、町内の人々もいろいろと協力していただいています
- ・区長と副区長がとてもしっかりしており区民の要望をしっかり吸い上げ即対応してくださいます。仕事は素早く丁寧で区民の信頼を得ています
- ・冬季以外にウォーキングを実施している
- ・①春、夏、秋の町内環境整備 ②春、夏の矢代川堤防の草刈り
- ・コロナ禍もあり、健康ウォークを年間7回計画したが、高齢者から児童まで毎回15名前後の参加者がある
- ・町内会の各種行事は、町内の地域づくりの各種団体からなる「地域づくり会議」において実行委員会を立ち上げて進めており、みんなの総意を反映した活動となっている
- ・以前、青壮年会主催で実施しているクリーン作戦（7月下旬、子どもからお年寄りまで参加）が表彰されたことがあります
- ・春祭り、秋祭り、冬囲いなどの共同活動、作業
- ・高齢者の連帯感が強く、公民館の草刈りからラジオ体操（コロナ禍でも回数を決めて）など、老人会が中心となって行っており、町内会も協力しています。
- ・毎年（20年以上）年3回環境美化の一環として、町内の範囲の柳通り（石塚～姫川原線）の歩道の草刈りと掃除を実施しています
- ・年に6回、「諏訪町だより」を発行している
- ・「楽しく、気軽に、コロナに負けない」を合言葉に健康ウォークを年12回実施している

- ・少子高齢化、一極集中等の影響下にあり、人口減少状況に於ける自治会運営の試行とでも言うのか、ダウンサイジングで見直しを少しずつ実施しており、昔のように、以前のようにやるのはどうなのか
- ・一方、商工振興会の活動もありますので、他地区とは同列に比較できません
- ・親子会との連携（春祭り、七夕祭り、敬老会、賽の神、ほたる公園草取り、ほたる公園ひまわりの栽培、ラジオ体操など）し、町内行事のほとんどに子供達が参加、中心的役割を担っており、特にラジオ体操は親子会夏休み中の行事に大人が参加している（特に春祭り、敬老会では、子供達が町内にある施設の入居者に喜んでいただいている）
- ・自主防災訓練は、実動的に毎年実施しており、コロナ禍では参加者を限定しているが、コロナ禍前は、ほぼ全世帯が参加していた
- ・各団体の会長を集め、歴史・文化保存活用部会を組織し、地域の宝として地域外へも発信に取り組んでいる
- ・当り前の事、地域の声を聞くことが大事で、月1回文書配布のときなどに各班長からの意見を聞く
- ・年3回の総会、年5回の役員会、年2回の用水地草刈り
- ・回覧文章等の速やかな配布
- ・1年の間、市職員が1ヶ月に1回、見に来てくれてありがたく、その時、皆あつまり弁当などを食べて楽しんでいる（夏の時だけ）
- ・役員に女性を3割以上起用している（4人/11人）
- ・健康づくり推進部長・副部長は女性とし、食生活改善推進委員5人を部員としている
- ・防災活動部は8人の防災士で組織・副部長は女性防災士
- ・原通自治会で制定した「原通地区民の歌」があり、総会や行事の開会式で、参加者全員で歌っている
- ・原通自治会のゆるキャラ「ミコちゃん」は自治会行事以外でも出張している
- ・高齢者お買物サポート
- ・東赤倉区内森林公園整備
- ・運動会や納涼会、お祭りの夜店などイベントが多く（コロナ前）負担も多く、なり手の確保が大変である
- ・イベント開催してもほぼ特定の住民しか参加しないので、地区内でのひずみがたまっているように感じる
- ・コロナになって、イベントは中止しているが、感染症対策を行いながら健康づくりやラジオ体操の実施などを始めたが、今まで参加していなかった住民も参加するようになってきており、今後も住民が参加しやすいイベントや健康づくりに移行しなければと感じている

#### (11) 町内会・大字等の運営について（自由記述）

- ・市への報告などできる限り返信用封筒など同封してほしい
- ・今現在の町内会役員は、以前のスポーツ少年団役員が中心となって現在の町内会を運営していますが、スポーツ少年団が解団してしまった今後の町内会運営について心配なところがあります（消防団役員がそのまま町内会役員になっている町内もあると感じます）
- ・役員の選出（2年に一度）が投票制であり、適任者が選出される利点もありますが選出されてもできない状況の方が出てくる可能性があり、その点が心配です
- ・町内会の運営は分担していかないと引き受け手が少なくなるがやり方の事例等示してほしい
- ・保守的な色彩が強い地域ですので、基本的には、前年を踏襲することが多かったのですが、コロナ禍によりそれが通用しなくなりました
- ・社会の動向を見ながらと思いつつも、社会の対応そのものが揺らぐので、行事等に関しても、実施するのか、しないのか、判断が難しくなっていると思います
- ・市役所などへの種類の提出に関しても、引き継ぎはありましたが、実際になってみると前年の状況が分からず、事務処理に時間がかかることから、今後、申請などがスムーズにできるように事務改善が必要だと思いました
- ・当地区において、過疎高齢化が進み今後更に加速する状況であり、今回のアンケートでは若い世代、子育て世代、子ども世代等などとの連携や取り込みを対象とした内容も多く回答に困惑しました
- ・中心市街地と異なり近隣の大字町内会との連携するにしても遠すぎ、高齢で移動手段が限られる方々を集めることも大変なため、今後このようなアンケートを実施される予定があればもっと地域の実情に合った小さなブロック毎の実施を望みます
- ・防災無線でラジオ体操を流し一体感を養う
- ・昔ながらの行事も大切とは思いますが、このコロナ禍で新しい時代にあった新しい町内行事の検討が不可欠と実感している
- ・飲んで集うような行事の削減が必要と実感している
- ・回覧板があまりに多く回りすぎるため、小学校、中学校、各種団体、市など回覧日を定めその日に回覧を依頼してほしい
- ・地内の用水の草刈りが広範囲にもかかわらず、高齢化が進み人員確保が難しくなっている
- ・他の町内も同じかと思いますが、役員（協議員5名）の選考に毎年苦勞しています
- ・私は町内会長ですが、仕方がないことかもしれないが町内会以外での負担が多い
- ・市役所からの調査物等、持参やFAX提出が多いが、せっかく各課にメールアドレスがあるのに提出先のアドレスの記載がほとんどの課からは通知されないため、有効活用してほしい（今の時代、持参やFAX等は考えられない）
- ・大字に現在13軒であり、その内1人暮らし、高齢世帯の割合高く、限界集落であるため、大字運営は非常に厳しくなっていくばかりで、大字での運営維持は見直しが必要である

- ・協議会の運営協力も必要と思われるが、他の大字ごとに事情は違うので必要性には差異がある
- ・大字としての意見はまとまらないことは今後の課題
- ・耕作放棄地の増加、空家や道路、電線にまで出てしまう樹木、集落の予算以上の交付金をもらう団体など、国がもっと本腰を入れてもらわないと困る
- ・町内会長として出席を要請される会合等が約半年間で三十数回あり、1日に4つあった時はかけ持ちをし、他の方に代理出席をお願いしました。
- ・白地に緑色の封書を実に沢山頂きます(このアンケートが届いた時も、他にもう2通あり、必ず目を通し、期日のあるものはその通り処理していますが、A Iの導入等で工夫をお願いしておきます
- ・高齢の親世代の運営方針(考え方)が土台に残っていて、当座の変革では若い世代の意見が反映されない(制限や圧力がかかることも)
- ・地域住民の世代交代、新規移住者の増加、同時に時代の変化も加わり、町内の様相は一変し、さらに町内だけでなく、各種団体、組織などもその活動の範囲、内容、規模の見直しの時期ではないか(※「大字」、農家組合、神社運営、民生委員の活動など)
- ・人手不足で、町内の役がすべて同じ人が行っている(中山間地直接支払、多面的機能、生産組合、老人会)15名位しか役をする人がいない
- ・戸数減少により、区の再編が必要で重要課題として、今後、取り組む予定
- ・高齢化により参加人数の減少
- ・高齢化、担い手不足のため、行政から協力を求められるより、行政からの負担軽減、行政からの支援をもっとお願いしたいところです。
- ・都市部ではないのでSNSの活用や住民自治の啓発を讃えるような設問は、妙高市の状況に合っていないと感じました
- ・質問に対して、どこに○を付けたらいいのか、一部記入が出来ませんでした。各地区の現状に対してアンケートの中身がかい離しているように思います
- ・各戸へのテレビ等での通達を早く実施すべき
- ・60代でも会社勤めがあり、必要以上の時間を割けなく、また町内でも個人的なものに係りたくない
- ・他の自治会と違い、字区内でのつながりが少ないため、協議会としての行事・活動は難しく現状では活動の予定は無いため、単なる市への要望事項の取りまとめ等の組織として活動する事としている
- ・市は「妙高市民の心」の推進を唱えています。市役所(職員)は「思いやりの心」で行政対応していますか?行政の法律や規約にしばられて「それはできません」という答えが多くなっていませんか?市民はそれを感じている
- ・今後、地域の居場所づくりとして、地域のコミセンの有効活用について計画したい
- ・会長(区長)は当て職が多く、ある区長は用水管理の総代となるため、用水費の集金があ

るが、集落外の入りも多いため大変な業務になっており、集金から振込への変更を検討している

- ・ひしひしとせまる高齢化と「カソ」、やがて限界部落か？
- ・コロナによるスキー場（土地代他）の収入源等の大幅減収、最終処分場対応（契約、課題対応等）、限界集落化、外国人等転入者トラブル対応（使役、区費、ゴミ、ローカルルール無視）他、課題山積であるが、やる人、やれる人、やる気のある人がいない
- ・今後の運営について、小集落ですので高齢化も進み戸数も半減し将来の展望を考えるに半減した中でも、後継者の若い人が数人いるので、早く若い人の考えの元で進めて、先取りした運営をしなくてはいけない状態に来ています
- ・次世代の意見を取り入れる世代交代を早める必要に迫られている状態のため、次世代のリーダーの選出を確実にいき、実行したいと思っています
- ・高齢者が多く、また世帯数も少ないため、ほとんどの世帯が高齢者だけの世帯となり、会費の減免ができない状況であり、運営に対する上記者に対する市からの交付金あるいは助成金などの支援をお願いしたい
- ・現役の会社員が町内会長をやるのには負担が多すぎるため、町内会長の手当を行政からも負担してほしい（金額によっては、年寄りも町内会長をやると思う）